

国際シンポジウム

水中文化遺産と考古学

— 海底遺跡ミュージアム構想

の実現に向けて—

日時

2007年12月16日(日)
11:00~17:00

会場

福岡市博物館講堂

福岡市早良区百道浜 3-1-1
TEL 092-845-5011(代)

参加料 無料 (資料代500円)
対象 この分野に関心をお持ちのかた

開催目的

NPO法人アジア水中考古学研究所は1986年設立以来、北部九州や五島列島で水中調査を行ってきました。また、国内外のシンポジウムなどに参画して、日本の水中考古学の普及にも努めてきました。今回のシンポジウムは海底遺跡を野外ミュージアム化し、広く公開する「海底遺跡ミュージアム構想」の実現に向けて、水中文化遺産と水中考古学の存在と意義をより深く理解してもらうことを目的としています。

第1部 基調報告

「日本の水中考古学」

石原 渉 (ARIUA副理事長)

「オーストラリアの海事考古学」

デヴィット・ナトリー (ニューサウスウェールズ州文化財局)

第2部 「海底遺跡ミュージアム構想」

「海底遺跡ミュージアム構想」

野上 建紀 (ARIUA副理事長)

「小値賀島と海底遺跡」

塚原 博 (ARIUA理事)

「小値賀島前方湾海底遺跡の調査」

宮武 正登 (ARIUA理事)

「前方湾海底遺跡見学会」

林原 利明 (ARIUA理事)

「鷹島海底遺跡」

小川 光彦 (ARIUA会員)

「推定「いるは丸」」

吉崎 伸 (水中考古学研究所)

「水中遺跡の原位置保存とパブリックアクセス：オーストラリアの事例」

ロス・アンダーソン (西オーストラリア海事博物館)

討論会

コーディネート：林田 憲三 (ARIUA理事長)

パネラー：発表者

主催/  NPO法人アジア水中考古学研究所 (ARIUA)

共催/  オーストラリア海事考古学会 (AIMA)

後援/福岡市・福岡市教育委員会・松浦市教育委員会・小値賀町教育委員会・有田町教育委員会
協賛/豪日交流基金

お問い合わせ/NPO法人アジア水中考古学研究所

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 4-5-10 チサンマンション第2天神1110号

TEL&FAX：092-725-0171 E-mail：kosuwa@h6.dion.ne.jp

 日本財団
The Nippon Foundation

助成事業

 ありがとう競艇

このシンポジウムは競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて実施します。